

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業－巡回公演事業－

ワークショップ実施計画書

| | |
|-------|-----------------|
| 制作団体名 | 公益社団法人 教育演劇研究協会 |
| 公演団体名 | 劇団たんぽぽ |

| |
|---|
| 内容 |
| <p>ワークショップは、公演と同日の1時限～2時限を想定しています。 全校生徒を対象に実施することも可能ですが、参加人数や、時間、ワークショップ内容などは、学校側の実態に合わせて話し合いで決めます。基本的には、共演・参加のためのワークショップを行います。</p> <p>【事前準備】 事前に、作品中の音楽CDと楽譜を、学校へ郵送します。音楽の時間や給食の時間を利用して、音楽を流し、歌を周知してもらいます。</p> <p>【ワークショップ当日】 ①発声と体を使った表現遊び。 「大きなかぶ」の参加へつながるようなワークショップ</p> <p>②劇中歌の練習。事前に送っていただいた音楽を参加場面に合わせて練習する。歌の途中に登場人物たちに掛け声をかけてもらう練習をする。</p> |

| |
|---|
| タイムスケジュール（標準） |
| <p>本公演の当日、学校授業時間の3、4時限目（もしくは、1、2時限目）で、ワークショップを行います。 （※時間は、学校側のご要望によって、相談に応じます。）</p> |

| |
|-------------------|
| 派遣者数 |
| 主指導者 1名 補助者 4名 |

| |
|--|
| 学校における事前指導 |
| <p>事前に音楽CDを送りますので、劇中歌の周知をお願いします。歌の練習は、ワークショップ時に行いますので、音楽が耳になじんでいる程度の周知をお願いします。</p> |

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業－巡回公演事業－

本公演実施計画書

| | |
|-------|-----------------|
| 制作団体名 | 公益社団法人 教育演劇研究協会 |
| 公演団体名 | 劇団たんぽぽ |

| 演目 |
|---|
| 『おはなしレストラン』（上演時間 約 60 分） 原案/ブレーメンの音楽隊・おおきなかぶ 脚本/宮田恵紀子 演出/村岡由美子 音楽/村岡由美子 衣装・美術/柿平衣名美 照明/真野亮文 |

| 派遣者数 |
|------------------------------|
| 出演者 5名 スタッフ 2名 (合計 7名) |

| タイムスケジュール（標準） |
|---------------------|
| 8:30 学校到着 |
| 8:30~10:30 舞台設営 |
| 10:30~12:10 ワークショップ |
| 12:10~13:00 昼食 |
| 13:00~14:00 本公演 |
| 14:00~15:30 撤収 |
| 15:30~ 退出 |

※上記は、基本です。ワークショップ時間や開演時間と合わせて、学校側と相談しながら進めていきます。

実施校への協力依頼人員

特に必要ございません。

演目解説

「ブレーメンの音楽隊」と「おおきなかぶ」を組み合わせ、『おはなしレストラン』として上演します。

【あらすじ】

ある時、ふと、あらわれる、不思議なレストラン。このレストランでお出しするのは、食べ物のお料理ではありません。お客様にピッタリのお話をご用意する、その名も「おはなしレストラン」

ある日、使い込まれたランドセルを背負った男の子がやってきました。「このランドセルがピカピカだったころ、ボクは何でもできるような気がしていた。でも・・・。」ふうーっと、ため息をついたその時に、レストランはあらわれる。

「いらっしゃいませ。おはなしレストランへようこそ。君にピッタリのお話、今日のメニューは、これ！」さて、扉をあけたその先で、男の子を待っていたお話は・・・。男の子が、出されたお話の中で活躍します。

誰もが知っている「ブレーメンの音楽隊」と「おおきなかぶ」のお話を、客席とコミュニケーションを取りながら演じ、演劇を身近に感じてもらえる作りとなっています。

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

児童生徒たちには、大きなかぶを抜くシーンと、劇中歌の歌を歌うシーンに参加してもらいます。公演前のワークショップで、本番への期待を高めることで、自然と公演に参加できるような流れを作ります。

児童生徒とのふれあい

学校側の時間が許す限り「バックステージツアー（舞台裏見学）」を行いたいと思います。また、質問コーナーを設け、役者との交流を図りたいと思います。